

労災だより

2020 - Dec

No. 21

ガンマナイフ Icon™ (アイコン) が稼働

患者さんのために最適な治療を提供していくことを心がけて日々診療にあたっております。

脳神経外科副部長 松永 成生

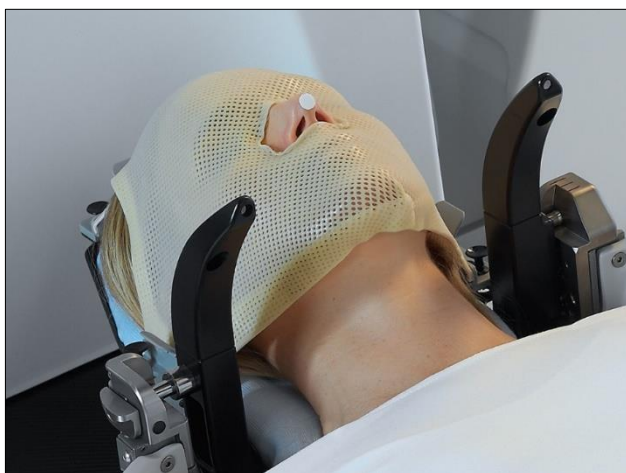
横浜労災病院では、1992 年の開院以来、頭蓋内病変に対して**定位放射線治療装置**である**ガンマナイフ**を用いた治療を行ってまいりました。**治療件数は、2020 年 10 月現在、約 13000 例**です。

ガンマナイフの治療適応は多岐にわたり、良性脳腫瘍（髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体腫瘍、頭蓋咽頭腫、血管芽腫など）、悪性脳腫瘍（転移性脳腫瘍、神経膠腫、悪性リンパ腫など）、脳血管障害（脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻など）、機能性疾患（三叉神経痛）など、さまざまな頭蓋内病変に対して治療を行っております。

そして、2020 年 12 月 3 日より、ガンマナイフの最新機種である**ガンマナイフ Icon™ (アイコン)** が稼働いたしました。

以前のガンマナイフからの一番の大きな変更点は、頭部固定においてマスクシステムが導入される点にあります。これまでのガンマナイフは、金属製の専用フレームを頭部の前後左右の 4 点に金属のピンで固定する必要がありました。しかし、新たに導入されるアイコンでは、**プラスチック製のフェイスマスクで顔面を覆い頭部固定を行うことが可能になります。****マスクシステムの導入によって、無侵襲での頭部固定が可能となるので、患者さんの身体への負担がこれまでよりも大きく軽減されます。**

また、これまでも当院ではフレーム固定以外にマウスピースを用いた頭部固定によって大きな病変に対する分割照射を行ってまいりました。しかし、マスクシステムの導入によって患者さんの負担がさらに軽減するため、今まで以上に容易に分割照射を行うことが可能となります。



アイコンでは、**照射位置を実際の患者さんの位置に合わせて自動的に補正するシステム**を搭載しています。機器に付属したコーンビーム CT で実際の治療位置における頭部画像を取得し、治療前に MRI 画像を基に立てた治療計画を CT 画像に合わせ込む形で補正し、正確な照射が可能となります。また、照射中は安全性と正確性を確保するために頭部の位置情報を赤外線で正確にとらえ追跡するシステム（**リアルタイム HD モーションマネージメントシステム**）を用いることで常時患者さんの身体の動きを監視しています。設定範囲を超えての動きによるズレ



が発生した場合には、瞬時に照射を停止し正常細胞への照射を防ぎます。以上の特徴によって、フェイスマスクを用いた治療では、今までのフレーム固定と同様に**安全で正確な放射線治療を提供することが可能**となります。

当院ではガンマナイフに加え、リニアックの**高精度放射線治療装置**である**ノバルス**も稼働しており、頭蓋内病変に対する放射線治療として多くの選択肢を持っています。手術治療、カテーテル治療、薬物治療に加え、最新の放射線治療を適切に組み合わせることにより、**疾患に応じた最善の治療を提供することが可能**です。そのためにも、常に新しい機器の整備とそれらの機器を使いこなせる人材の育成に日々取り組んでおります。

今後もますます多くの患者さんのために**最適な治療を提供していくことを心がけて日々診療にあたっております**ので、よろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症対応力向上研修を開催しました

横浜市役所医療局医療政策課では、横浜市内の医療機関や介護保険施設等の職員が**新型コロナウイルス感染症に適切に対応できるようになること**を目的として、標記研修を企画しています。令和2年11月から令和3年2月にかけて、市内9会場で開催する計画となっており、病院、診療所、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護事業所など約3,800施設に受講を呼びかけています。講師は横浜労災病院を含む横浜市地域中核病院、市立病院、市立大学病院の専門・認定看護師等がそれぞれ務めます。

令和2年11月27日（金）に神奈川公会堂で開催された「**第2回新型コロナウイルス感染症対応力向上研修**」では、当院の**感染管理認定看護師**である**長田久美子看護師**が講演しました。横浜市港北区及び緑区に開設している医療機関、介護保険施設等から約70名の職員が受講しました。



講演では、長田看護師が**新型コロナウイルス感染症の症状、後遺症、診断方法、検査、感染経路等の基礎知識**の他、**具体的な感染症予防対策、手指衛生の注意点、个人防护具の使用方法や着脱手順等について、実技を交えて解説**しました。また、当院で実施している感染対策物品の再利用についても紹介しました。

なお、当日に参加できなかった施設には、横浜市医療局から**講演の動画を配信する予定**です。横浜労災病院は行政とも連携して、地域における新型コロナウイルス感染症への対応力向上を目指していきます。

